あがの市議会だより

第48号

令和３年
6月定例会号
令和3年7月15日 発行

主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P1-2
常任委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問（13人）ほか	P4-7
政務活動費の収支ほか	P8

6月5日㈯、土岐一希さん（NPO法人阿賀野市総合型クラブマネージャー）が東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーとして新発田市内を走り、聖火をつなぎました。

東京パラリンピックの派遣基準を突破し、山田美幸さん（京ヶ瀬中3年）が競泳の日本代表に決定しました。

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
5月18日開催の臨時会および6月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

6月定例会

一般会計補正予算（第３号）

主な内容

■地場産業が息づく活力と賑わいのまちづくり事業費
1,800万円

やすだ瓦ロード整備事業補助金。令和3年度事業計画に基づきトイレや看板などの整備を実施する団体への県補助事業分を増額します。

瓦ロードのオブジェ

■リズム・ハウス瓢湖運営事業費
689万8千円

日帰り入浴と貸し部屋の営業を再開したことに伴い、7月から9か月分の会計年度任用職員の報酬や燃料費などの事業費を増額しました。歳入に使用料300万円を計上しました。

■インターネット・サービス運用事業費
1,185万2千円

阿賀野市が運営する村杉局内のインターネット・サービスを民間事業者の通信サービスに移行するための設備撤去工事費および回線移行費用負担金。なお、利用者のインターネット・サービス使用料を維持管理費に充てるために積み立てた基金を繰り入れ、財源とします。

6月定例会が6月4日～17日の会期で開かれました

4日　本会議
■一般行政報告
■議案の提案説明
■一般質問1日目（4人が質問）

7日　本会議
■一般質問2日目（7人が質問）

10日 本会議
■一般質問3日目（2人が質問）

11・14・15日 各常任委員会
■委員会に付託された議案を審査

17日　本会議
■各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決
※議決結果は2ページ

本会議の中継映像・録画映像はインターネットでご覧いただけます。阿賀野市議会　検索

6月定例会　つづき

公の施設の区域外設置及び利用に関する協議について

■公共下水道施設の設置及び利用

阿賀野市の下水道施設を隣接する新発田市の下水道施設に接続すること、および阿賀野市民が新発田市の下水道施設を利用することについて、新発田市と協議します。

財産の取得について

■除雪グレーダ（2.8m級）を購入 3,077万7,360円

阿賀野市が所有する昭和60年製の除雪機械を故障リスクの軽減や作業効率の向上を図るため、更新します。社会資本整備総合交付金を活用します。

5月18日臨時会

一般会計補正予算（第２号）

主な内容

■五頭温泉郷（GO!!）宿泊キャンペーン事業費 3,000万円

阿賀野市内の旅館に宿泊した県民に対し、大人1人5,000円、子ども(小学生以下)1人3,000円の宿泊費を割引します。

問　国のGoToトラベルが中止されている中で、この事業を進めるのか。

答　新型コロナウイルスの状況と国や県のトラベル割引の状況を勘案して発動する。

■高齢者新型コロナウイルスワクチン接種交通費助成事業費 1,000万円

ワクチン接種の促進およびタクシー事業者を支援するため、移動手段のない高齢者の接種会場までの交通費を助成します。片道1,000円上限。1人当たり2往復まで。

問　いつから実施するのか。

答　すでに5月12日から接種が始まっているので、その部分については遡及したい。

工事請負契約の締結について

■水原小学校大規模改造工事（建築）

校舎の老朽箇所等の改修をするため、1億9,580万円で契約を締結するものです。

工事が始まった水原小学校

5月臨時会、6月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

5月18日臨時会

	議案名	審査した委員会※	議決結果
専決	阿賀野市税条例の一部改正について 令和3年3月31日専決	省略	承認
専決	阿賀野市介護保険条例の一部改正について 令和3年3月31日専決	省略	承認
専決	令和2年度阿賀野市一般会計補正予算（第16号） 令和3年3月31日専決	省略	承認
専決	令和2年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算（第7号） 令和3年3月31日専決	省略	承認
専決	令和2年度阿賀野市少年自然の家特別会計補正予算（第4号） 令和3年3月31日専決	省略	承認
専決	令和3年度阿賀野市一般会計補正予算（第1号） 令和3年4月9日専決	省略	承認
補正予算	令和3年度阿賀野市一般会計補正予算（第2号）	省略	可決
その他	工事請負契約の締結について （水原小学校大規模改造工事（建築））	省略	可決

6月定例会

	議案名	審査した委員会※	議決結果
補正予算	令和3年度阿賀野市一般会計補正予算（第3号）	総文 社厚 産建	可決
補正予算	令和3年度阿賀野市一般会計補正予算（第4号）	省略	可決
条例	阿賀野市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	総文	可決
条例	阿賀野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
条例	阿賀野市介護保険法に基づく指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正について	社厚	可決
条例	阿賀野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
条例	阿賀野市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
条例	阿賀野市食品乾燥施設の設置及び管理に関する条例の廃止について	総文	可決
その他	阿賀北広域組合の規約の変更について	社厚	可決
その他	阿賀北広域組合の解散について	社厚	可決
その他	阿賀北広域組合の解散に伴う財産処分について	社厚	可決
その他	（上記議案の）議案の訂正について	省略	承認
その他	財産の取得について（除雪グレーダ（2.8m級））	産建	可決
その他	公の施設に係る指定管理者の指定（変更）について （阿賀野市道の駅「（仮称）あがの」）	産建	可決
請願	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度２分の１復元に係る意見書の採択を求める請願	総文	採択
発議	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度２分の１復元に係る意見書の提出について	省略	可決
発議	阿賀野市議会会議規則の一部改正について	省略	可決

※省略：本会議で即決したもの
総文：総務文教常任委員会　　社厚：社会厚生常任委員会
産建：産業建設常任委員会

意見が分かれた議案

6月定例会

○：賛成　×：反対　議長（市川英敏）は採決には加わりません。

	議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党			新風あがの							会派の所属なし			
				村上清彦	宮脇雅夫	岡部直史	松﨑良繼	山口功位	風間輝榮	大滝勝	百都順也	加藤博幸	遠藤孝	荒澤浩和	遠藤智子	近山修	清野栄一	天野市榮
その他	公の施設の区域外設置及び利用に関する協議について	産建	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
その他	討論（要旨）反対意見：国は、下水道の整備には巨額の投資が必要であり、公共下水、集落排水、合併浄化槽から適切に選択すべきとしている。協議案件は6戸の公共下水の整備を行い、流末を他市の管路への接続をするもので整備費用2,200万円、使用料収入年20万円、周辺人口は直近５年間で11％減、合併浄化槽対応が適切。																	

常任委員会の活動

市の仕事を3つに分け、関係する議案等の審査や調査を行います。阿賀野市では議員1人が2つの委員会に属しています。（ただし議長は常任委員になりません。）

総務文教常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

5月11日に所管事務調査を行いました

堀越小学校長寿命化改良工事について

阿賀野市では令和2年3月に「阿賀野市学校施設長寿命化計画」を策定しました。

学校施設改修をこれまでの老朽改修から、より長期間使用していくための長寿命化改修を中心に据えて、教育環境の質的改善も考慮し改修を進めていくことを目的としています。

この計画に基づき、令和2年度に長寿命化改良工事を行った堀越小学校で現地調査を行いました。

今回の工事は屋根・屋上の防水、外壁や建具、内装や家具、その他給食搬入プラットフォームや保健室などの建築工事のほか、トイレの水洗設備の改良による新型コロナウイルスなどの感染症対策や、無線ＬＡＮやタブレット端末の充電・収納スペースといったＩＣＴ活用に向けた設備工事も行われました。

現地調査後の質疑では、当初の予定より工事費が増額した件について質疑がありましたが、外壁の損傷が大きく、またコロナウイルス感染症関係への対応が原因であったとのことでした。

タブレット端末を活用した教育について

Ａｉやロボットの力を借りて、人間がより快適な生活を送ることができる新たな社会において、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び、および協働的な学びを実現するためには、学校現場におけるＩＣＴの積極的な活用が不可欠として、文部科学省ではＧＩＧＡスクール構想を推進しています。

阿賀野市においても、令和2年度に児童・生徒に1人1台の端末を配備しました。このＧＩＧＡスクール構想の下、これまで培ってきた教育の実践とＩＣＴの技術を活用した新しい教育実践を効果的に組み合わせていくことが今後の重要課題となっています。

堀越小学校の3年生と6年生の算数の授業を現地視察しました。視覚的に解き方を理解しながら、児童同士の画面を共有して共に考えるというような、タブレット端末ならではの新しい授業が展開されていました。

タブレット端末を活用した教育については、各家庭における格差が生まれないよう配慮していくことが重要であり、各学校が連携した継続的な研修等を通じて、ＧＩＧＡスクール構想実現に向けた教育を実践していただきたいと意見集約されました。

※ＩＣＴとは…通信技術を活用したコミュニケーション。ＳＮＳ・メールなど。

これらを踏まえ、教育におけるＩＣＴ活用にあたっては、各家庭や学校間における活用度合の格差が生まれないよう配慮していくことが重要であり、各学校が連携した継続的な研修等を通じて、ＧＩＧＡスクール構想実現に向けた教育を実践していただきたいと意見集約されました。

※ＩＣＴとは…通信技術を活用したコミュニケーション。ＳＮＳ・メールなど。

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

(1)認定こども園京ヶ瀬幼稚園の現況について
(2)市内中学校の校則制定状況について

社会厚生常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

4月21日に所管事務調査を行いました

阿賀野市歴史民俗資料館の現状について

阿賀野市歴史民俗資料館は、学校の統廃合により使われなくなった旧山手小学校の校舎を利用し、今年4月17日にオープンしました。

建物は1階が展示スペース、2階と3階は収蔵庫となっており、閉館した五頭の麓のくらし館や旧町村の資料館から集められたもの、市内で発掘された遺跡出土品等が展示、保管されています。「むかしのくらし」「地質と考古」など、教室ごとにテーマ別の展示となっており、電化製品が普及する前の農家の居間なども再現されています。

開館日は今のところ土日祝日ですが、5人以上の団体または学校の授業等で事前に予約をすれば平日の見学も可能です。

オープン最初の土日には市内外から127人が来館されたとのことです。

今後は、企画展の実施や道路への案内看板の設置、市内の他施設との連携、また、公民館講座の参加者がボランティアスタッフとして資料館を支えるような循環型の仕組みづくりが必要になると思われます。

担当課の説明を受けながら視察。校舎の構造をいかした展示・収蔵となっている。

子どもの貧困対策について

阿賀野市では、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」等を踏まえ、次世代を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境を整え、社会全体で子育て支援に取り組むことを目指した「第2期阿賀野市子ども・子育て支援事業計画」を令和2年に策定しました。

アンケート調査の結果　計画策定に先立ち、平成29年に市内在住の18歳未満の子どもの保護者2,762人を対象にアンケート調査を実施。回答率は75・4％。国の基準を参考にした当市の子どもの貧困率は17・9％。

貧困とされる世帯はそれ以外の世帯と比較し、学習や体験の機会に支出ができない、成績が低い、ゲームやスマホの利用時間が長い、高校卒業後の進路が限られる等の傾向が見られる。

5つの重点施策　市では、5つの重点施策に沿って子どもの貧困対策の総合的な推進を図り、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう支援に取り組んでいる。

(1)教育の支援…学ぶ機会や希望する進学の実現を支援するため、教育における経済的負担の軽減に取り組む。
(2)生活の支援…安心して子育てできるよう、子育て環境等の整備とともに各種相談体制の充実を図る。
(3)保護者の就労支援…就労による生活の安定に向けて、資格取得等を支援する。
(4)経済的な支援…状況に応じた給付事業等を行う。また経済的支援につながる制度の情報周知を進める。
(5)支援体制の整備…子どもや保護者等の抱える問題を適切に把握し必要な支援へつなげるために支援体制の整備を図る。

委員からは、保護者の所得状況が子どもの貧困につながると考えられるため、所得向上策や支援制度の確実な周知も必要であること、放課後の過ごし方の格差解消策として市で実施している無償の塾の活用などについての意見が出ました。

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

子育て支援センターにこにこの運営状況について

産業建設常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

5月13日に所管事務調査を行いました

やすだ瓦ロード整備事業について

現在、安田瓦産業は、瓦製造業者2社と関連業者3社が操業しているだけとなり、地域産業再生と活性化が喫緊の課題となっています。

そのため「地場産業が息づく活力と賑わいのまちづくりを推進」し、「観光人口、関係人口の増加を通じた地場産業と地域の活性化」を図るため、やすだ瓦ロードを中心とした拠点整備に取り組むこととなりました。

事業概要について

本事業は、地方創生推進交付金、地域活性化推進事業の2本の補助事業を活用し、総額1億9千万円で実施されます。

事業費の内訳として、国7千万円、県5千万円、市5千万円の負担をし、事業主体である安田瓦協同組合（以下、瓦組合）は2千万円を負担します。

令和3年度は、地域活性化推進事業である「やすだ瓦ロード周辺整備」が行われます。整備内容としては「市道のグリーンベルトの設置」、「総合案内板・誘導標の設置・トイレ整備やモニュメント等の整備」が予定されています。

具体的に、瓦テラスと瓦組合事務所の間や三角広場付近に、「新たな横断歩道の設置」や「三角広場を再塗装しての整備更新」、「わかりやすい表示板の設置」、「鬼瓦散歩道の整備」が行われ、メイン会場の焼物広場では、「路盤整備」、「トイレの設置」、「管理が容易なクローバーの播種・植栽」、「広場中心の築山部分にモニュメント設置」などを行い、インスタ映えするような広場を作る検討がなされています。

また、焼物広場付近の住宅地には、今後地元の方たちの協力を得て、瓦や庵地焼の破片を活用し「道路脇に埋込飾り」、県道付近に「ふれあいピットの再整備」「全国瓦産地看板の設置」、ほかに人の流れを誘導するため「国道290号入り口看板のリニューアル」、上野林集落センター付近の「ベンチ・誘導標・埋込飾りの設置」、温泉施設に「モニュメントの設置」など、これから地元の方と協議しながら進めたいとのことです。その他、阿賀野市歴史民俗資料館への来訪者誘導の検討を行うとのことでした。

今後、瓦ロード整備と併せて、瓦組合事務所裏手に「安田瓦体験型資料館」を建築し、「修学旅行受入れ」、「瓦づくり体験学習の提供」、「瓦職業訓練学校の修業課程の場」などの事業展開を図る計画で、循環型社会を見据え瓦リサイクル施設で瓦チップの販売などの事業提案がなされるようです。

委員会からの要望事項

委員会では、瓦ロード全体の美観・景観を整備するうえで、地域、特に地元の方々の理解・協力を得ることが必要であり、地域の一体感が醸成することにより、来訪者の方もこれを感じ、再来訪につながるとの意見が出されました。

また、一時的な取り組みとせず、事業の目的達成のため、継続的な計画づくりと実行に取り組まれるよう申し添えました。

瓦ロードのモニュメント

事業説明を受ける委員

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

圃場整備について

一般質問

新型コロナウイルス対策について

新風あがの
加藤 博幸

質問 ワクチン接種状況と行事開催の考えを伺う。

答弁 高齢者の予約率は80％超、接種率も順調に推移。接種率6割を目安としつつ、感染防止策の徹底を継続、行事開催は最低限度の実施にしたい。

ヤングケアラーについて

質問 全国調査結果から早急な対応を求める。

答弁 深刻な事態は衝撃的。啓発活動を通じ発見と支援につなげる。

新型コロナウイルス感染症について

新風あがの
荒澤 浩和

質問 予約受付体制に問題はなかったか、または課題・改善点を伺う。

答弁 予約に際して、受付開始直後から予約が集中し、電話がつながりにくい状態が続いたこと、インターネット予約の不具合により一時的に予約ができなくなってしまったことで、皆さまにご心配とご迷惑をかけてしまい、大変申し訳なかったと思っている。

質問 県内で高齢者接種予約が開始されてワクチン難民が発生していないか伺う。

答弁 当市は希望する方が全員受けられる集団接種体制を確保しており、ワクチン難民といわれる方は発生していないと考えている。

質問 ワクチン接種当日のキャンセル対応を伺う。

答弁 現在キャンセルが出た場合、集団接種に従事している看護職や薬剤師等に接種しており、他の対応方法についても検討を進めているところである。

質問 ワクチン接種は予定どおりできそうかを伺う。

答弁 年内に16歳以上の方全員の接種を終えるようワクチン接種体制を整えている。

農業分野のSDGs脱カーボンについて

質問 みどりの食料システム戦略にも即す堆肥センターの新設に向け、畜産クラスター推進協議会をリードする立場では。

答弁 必要な施設と認識。関係者がまとまるよう取り組む。

市民病院の位置付けと機能は

質問 「県地域医療構想調整会議」に当市の考えをどう反映させていくか伺う。

答弁 実情に見合った病床確保や病院機能強化を図り、回復期を中心に医療機能と地域中核病院としての役割を更に明確に示したい。病院内の4つのセンターと、市民の生活習慣病やフレイル予防等について連携を進め、健康寿命の延伸に継続的に取り組む。

生理の貧困対策を図れ

質問 生理用品が購入困難な方へ備蓄品の活用を問う。

答弁 実情を把握し、対応に努めたい。

職員体制とDXへの対応は

質問 今年度の人事異動とDX（デジタルトランスフォーメーション）の狙いを伺う。

答弁 概ね3年の異動で組織の活性化や人材育成を、女性の適性や能力を活かした多様な検討を行うように係長以上への積極的登用を図った。DXの体制強化は、内部研修の実施、業務プロセスの見直し等を進め、市民サービスにつながるデジタル化を推進する。

危機管理への対応は

質問 行動マニュアル策定状況を伺う。

答弁 地域防災計画に基づき適切に対応する。

意見 マニュアル策定に未着手であることが不安である。

阿賀野市「道の駅」について

質問 地場産販売の協力農家等の状況を伺う。

答弁 指定管理者に確認したところ、4月に阿賀野市内の110件の園芸農家に対し、道の駅への出荷に関する意向確認のアンケートの実施と併せ、生産者から個別に話を聞いているとのことであり、農協とも連携した体制づくりのため、協議が行われており、市も協力して協力農家の確保に向けた準備を進めていきたい。

質問 阿賀野市民や全国に対しての告知・宣伝方法を伺う。

答弁 市のホームページ内に道の駅の情報ページを設けている。ホームページと併せSNSも活用し周知を図り、オープンに向けて随時情報を発信していきたい。

一　般　質　問

60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが繰り返されます。
掲載内容は質問議員がまとめたもので要旨を掲載しています。

無会派
清野　栄一

阿賀野市定員適正化計画等について

質問　人口減少や厳しい財政状況の下、職員数の増加を抑制しつつ、効率的で質の高い行政を実現するため、きめ細やかな定員管理が必要。今年度24名の新採用のうち追加で10名の採用があったが理由は。

答弁　主な理由は採用予定者の辞退による。

質問　多くの市では就職氷河期、社会人、障がい者枠を区分して採用試験を行っている、なぜ取り組まないのか。

答弁　社会人は(29才まで)受験可能。障がい者枠は年度による。

意見　就職氷河期、社会人等の社会経験者の採用を行うことによって職場の活性化につながると検討すべきと思う。

ふるさと納税について

質問　寄付受け入れ累計額と各基金残高および新型コロナ対策への活用について伺う。

答弁　13年間で9億1，550万円の寄付受け額、基金残高は計約7億8千万円。コロナ対策への活用は考えていない。

質問　ニッセイ基礎研究所の調査によると、非正規雇用の世帯年収200万円以下でコロナにより収入が減少している割合が高く、他市ではふるさと納税で「子ども食堂」などの支援を行っているところもある。基金残高も多い、困窮者対応を実施すべき。

答弁　交付金事業で検討したい。

災害想定について

質問　全国的に激甚・頻発化する豪雨災害。阿賀野川が想定最大雨量により氾濫した場合の地区別被災状況は。

答弁　床下浸水以上の想定被災者数は水原3，400世帯9，100人、京ヶ瀬2，000世帯6，400人、安田1，600世帯4，600人、笹神120世帯400人。

質問　本市には阿賀野川の重要水防箇所が多数ある、住民に周知すべき。

答弁　防災塾を開催したところは周知している。

意見　生命にかかわる事であり市民全員に周知すべき。

日本共産党
岡部　直史

道の駅について

質問　道の駅計画については、田中市政のもとで平成28年度より現在の計画がスタートして現在に至っていると理解して次の点を伺う。

(1)建設事業費は当初9億円の概算額が、現在17億円となった経過と財源内訳について。

(2)建設地（下黒瀬）については、合併後の「福祉道の駅」構想をひきついで選んだと理解してよろしいか。

(3)道の駅の防災機能は。

答弁　(1)平成30年の議員全員協議会で、概算額8～9億円と説明した。その後、軟弱地盤対策や盛土材の土質改良等で約2億円、建築工事の基本・実施設計の仕様の見直しで約4億円、その他約1億円の事業費が増加した。財源内訳は、国庫補助金が約6億5千万円、合併特例債約6億円、公共施設整備基金（市の一般財源）約4億円となる。

(2)建設地については、前の道の駅構想を出発点に決定した。

(3)防災機能については、災害時に緊急避難場所や中継基地などの活動拠点となる。

柏崎原発の再稼働問題について

質問　柏崎刈羽原発でいったん事故が起きれば放射能汚染は、100キロ以上に及ぶと言われている。また、東京電力のずさんな安全対策についての批判が広がっている。再稼働問題について、市長の見解を伺う。

　また、大室浄水場の放射能汚泥処理の状況について伺う。

答弁　東電の不祥事にはあきれて言葉がない。再稼働には、県、柏崎市、刈羽村3者の同意が必要とされているが、範囲の拡大について、原発から離れている市町村の意見を聞く必要がないとは言い切れない。今後の議論の推移を見て判断する。

　大室浄水場の汚染浄水土のうち高濃度の発生土200トンは、国から委託され保管・管理している。微量汚染土は例年どおり県外へ搬出している。

日本共産党
宮脇　雅夫

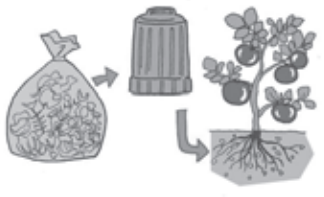
「コロナ封じ込め」戦略に転換を

質問　ワクチン接種は、予約困難な住民のために、支所でも予約をサポートする、また、介護施設やホームヘルパー、学校関連施設、保育園等の福祉施設の職員を優先的に接種したらどうか。PCR検査は、クラスターが発生しやすい医療機関、介護施設等、学校、保育園等の全職員対象の無料の社会的検査を定期的に実施し、陽性者の治療、保護・隔離をすること。また、持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金などの支援を国に求めるとともに、阿賀野市独自の直接支援金を支給すべきでないか。

答弁　ワクチン接種の予約窓口は支所も含めて検討する。高齢者施設職員やホームヘルパーは優先的に接種できるようにする。PCR大規模検査は、県レベルの取り組みが必要。市独自の直接支援金は、社会情勢や市内経済状況を見ながら必要な対策を講じていく。

脱炭素、脱プラスチック社会に向けて

質問　温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロにするため、今後、従来から分別回収していた家庭の容器・包装プラごみに加え、玩具や食器、日用品等のプラスチック製品も、市が一括回収することになるが、当市でのプラごみの現在の処理状況と今後の取組について伺う。



　また、生ごみの焼却は、燃料油を大量に必要とし、エネルギー化促進にも逆行することになる。これらの対策はどうか。

答弁　大部分のプラスチックごみは、生ごみや紙くずなどと一緒に焼却処分されている。今後、新しい焼却場とリサイクル施設の稼働が予定されているので、全地区でのプラスチック製容器包装ごみの分別収集に取り組む。

　生ごみ対策として、小売店や飲食店に対しても食品ロス削減を働きかける必要がある。

日本共産党
松﨑　良繼

コロナ禍で苦境の業者に直接支援を

質問　旅館業などからはお客の激減で経営の限界に近づいているという声も出ている。市としても直接補償を実施すべきと思うが。

答弁　国がしっかり支援するのが第一だ。

質問　国の支援が不十分だから自治体の支援が必要になる。県内でも直接支援に乗り出す自治体が出てきている。

答弁　影響を調べて状況によっては検討したい。

米価下落対策を

質問　コロナ禍で米価の下落が続き、管政権は史上最大級の減反上積みを強要している。「政府による備蓄米の買入れ」「不要なMA米の削減」を国に強く求める考えは。

答弁　それだけでは解決につながらない。36万トン分の作付転換が必要だ。MA米は市場に回らないので需給に影響しない。

質問　MA米は加工用に回しても結局国内米を圧迫する。市長は規模拡大と園芸振興を言ってきたが成果はどうか。

答弁　なかなか思うようには行かないが、しっかり取り組んでいく。枝豆は反収で米の3倍になる。

質問　特定の作物を打ち出すだけでなく農家の実情に合わせて安心安全な多様な作物を生産し、生協等との連携、給食などへの提供拡大、大小の直売所拡大が3本柱。直売所支援は観光政策ではなく農林業政策の柱に位置づけて予算もとって取り組むべきと思うが。

答弁　言われるとおりだ。直売所をつくって終わりでなく、農家の収入が上がるよう取り組んでいきたい。

県管理国道の安全対策促進を

質問　県管理の国道290号、460号の歩道整備が地域の長年の要望に関わらずほとんど進んでいない。生活道路、通学道路について強力に要望すべきと思うが。

答弁　今後も継続して県に要望していく。当面路肩拡幅なども合わせて要望する。

歩道整備が待たれる飯山新、中ノ通地内の国道460号

新風あがの
百都　順也

コミュニティースクールについて

質問　コミュニティースクールは、地域住民等が学校運営に権限を持って参画することで、学校と地域が連携・協働し、地域と共にある学校づくりを図る仕組みである。現在は法整備によりこの導入は各教育委員会の努力義務となっている。

　まず、学校が地域と連携・協働する事の重要性と必要性についての認識、またこれまでの取り組みや今後の具体的な計画について伺う。

答弁　子どもたちに阿賀野市へ愛着を持ってもらうために、地域と連携した学習活動は欠かせないものと考える。これまでの学校評議員制度や、実施してきた各事業により、理念と合致する組織をつくり取り組んでいる。今後はコミュニティースクール導入が学校教育にどう影響するか、引き続き検討していく。

質問　コミュニティースクール導入は、『学校運営協議会』設置と同義であるように定められているが、協議会設置に向けた具体的な取り組みや、目標、計画について伺う。

答弁　当市における『コミュニティースクール準備校』の事業は、この導入を意識したものではあるが協議会設置についての具体的な目標や計画はまだ無い

質問　県内のほとんどの自治体で『学校運営協議会』、『地域学校協働本部』が設置されており、学校と地域の連携・協働の仕組みが構築されている。当市では、こうした組織が設置されていないが、市長の見解を伺う。

答弁　周辺市町村と当市では事情が異なるので、他の導入状況によって方針が変わることはない。コミュニティースクールの仕組みが、本当に当市の学校教育のために必要なのか、これからも見極めてから検討していく。

無会派
遠藤　智子

公共施設衛生環境改善事業について

質問　本年度、二酸化炭素測定器が公共施設18か所に68個、空気清浄機が11か所に43台設置され、利用者の安心の声が聞かれる。今後、3支所と、特に不特定多数の利用者が訪れる本庁1階に空気清浄機の設置が必要と思うが見解を伺う。

答弁　空気清浄機は、職員が常駐していない等の理由により、窓開け換気を定期的に行えない場所に設置した。本庁および3支所は職員が常駐し、定期的な窓開け換気が可能であり、設置の予定はない。

学校施設の安全対策事業を

質問　本年度、小中学校に密集・密接状態にある児童生徒同士の新型コロナウイルス感染症予防のため、二酸化炭素測定器の設置に敬意を表し、再度、学校施設を利用する教師、子どもたちの安全対策に空気清浄機の設置の必要性について伺う。

　昨年度の一般質問に対する答弁は、「今後の状況次第で空気清浄機の必要性が高まる可能性は大いにある。見極めながら状況に応じた対応を適時適切に実施したい。」とのことだった。児童・生徒が安定した心を保って勉強に臨めるよう、環境を整えるのは市の責務と考える。補助金等を活用し、設置を考えるべき。市長の見解を伺う。

答弁　空気清浄機は感染防止に有効と考えるが、設置に多大な費用（5千万円位）を要するため、現時点での設置は難しい。4月から小中学校の各教室に二酸化炭素測定器を設置し、換気状況を把握しており、換気が感染予防に有効との考えから、換気や座席の分離、マスク着用で感染防止を徹底していきたい。

公明党
村上　清彦

インクルーシブ教育の取り組みについて

質問　障害者権利条約の理念に基づき、学校から障がいのある子が排除されない、また障がいの有無によって分け隔てられることなく、様々な違いを持った子どもたちが相互に人格と個性を尊重し合いながら、同じ空間で学ぶことがインクルーシブ教育の本質であり、共生社会を実現するために学校教育での取り組みが重要視されている。文科省では、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を謳い、子どもの状態や、教育的ニーズにより通常の学級、通級指導、特別支援学級・学校といった多様な学び場を用意することが必要として特別支援教育の充実を行っているが、現状では本質的な課題が見過ごされており、本来のインクルーシブ教育とはいえないと指摘する声がある。本市の教育環境において、生きづらさを抱えた子どもたちは元より、全ての子どもたちに光を当てて、安心できる環境づくりを積極的に推進してもらいたいと考えるが、現状の取り組みについて伺う。

答弁　阿賀野市では、インクルーシブ教育の理念のもと「みんなで一緒に学ぶことができる環境をつくっていくこと」と「一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を提供し、自立と社会参加に必要な力を培っていくこと」が大切であると考え、4つの取り組みを行っている。1つ目は、特別支援学級や通級指導教室の適正な整備。2つ目は、交流学習の推進。3つ目は、ユニバーサルデザインの視点に基づく取り組み。4つ目に、自立活動や主体的な学びを促す、各教科等を合わせた指導を行っている。以上の取り組みと合わせ、特別支援教育を充実させるため、教職員の専門性の向上、育成を図っていくことが重要であると考えている。

新風あがの
風間　輝榮

新型コロナワクチン接種状況について

質問　当市の予約・接種状況と今後の見通しについて伺う。

答弁　ワクチン接種の予約状況については、65歳以上の方への接種券発送数は1万4，634人分となっており、5月24日現在で、1万2，066人、82・5％の方が予約済みで、5月26日現在、2，004人の方が接種を受けている。今後の見通しについては、次の接種対象者である基礎疾患を有する方、市外の高齢者施設等に従事する方、60歳から64歳までの方については、7月11日以降に順次ワクチン接種ができるよう進め、年内に16歳以上の方全員の接種を終えるよう体制を整える。

リズム・ハウス瓢湖について

質問　4月15日から営業を再開したが、これまでの利用、収支状況について伺う。

答弁　5月20日までの利用状況は、入浴者が延べ674人、部屋利用者が21組97人、1日平均では30人となっている。収支状況については、料金収入24万円、支出が74万円である。

阿賀野市魅力発信事業について

質問　具体的な計画について伺う。

答弁　阿賀野市の魅力を発信し、特に若い世代から阿賀野市に移住、定住していただくことを目的として、シティプロモーション動画を作成する。キャラクターやドローンなどを使い、阿賀野市の地域特性（観光・産業・環境）を織り交ぜながら、ホームページやSNSなどを通じて幅広く配信したいと考えている。

後期高齢者の医療費窓口2割負担について

質問　負担増となる対象者は何人になるのか。

答弁　当市の後期高齢者医療制度の被保険者6，959人を試算したところ、約1，400人の方が2割負担の対象となると考えられる。

一　般　質　問

一般質問の詳細は会議録またはホームページでご覧いただけます。今回のものは9月上旬の予定です。
会議録は図書館、各支所、本所ロビーに用意してあります。

新風あがの
大滝　勝

阿賀野バイパスについて

質問　阿賀野バイパスの全線開通が5年程度遅れるという発表があった。これからの市政に様々な影響があると考えられるが、市長の所見を伺う。

答弁　令和4年夏までに予定されていた全線開通が遅れるとのことについては、残念に思っている。下黒瀬から土橋交差点までの間は、令和4年内に開通予定となっていることから、大きな影響はないものと考えている。しかしながら、土橋交差点までの部分開通となると、市道大野土橋線の交通量が増加することで影響を懸念しているところである。市としては、部分開通による影響を見極めながら、国・県・関係機関と協議をするとともに、国・県に対し早期の全線開通となるよう強く要望していく。

うららの森トマトハウスについて

質問　昨年度の成果と今年度の取組状況について伺う。

答弁　昨年度、定植間隔を25㎝から20㎝とし、前年度より450本増の2,250本で栽培を行い、収量並びに販売金額の増を目指した。しかしながら、1玉当たり重さが5グラムほど軽い結果となり、販売量は0・4トン減の7トン、販売金額は62万8千円減の461万5千円であった。今年度は昨年度と同数での栽培を続け、水分と肥料濃度が収量や品質に及ぼす影響などの実証を進め、多様な栽培データを得たいと考えている。現時点では、当該ハウスで研修を受けた人の新規就農はないが、ニーズに合った研修会の開催に取り組む。今後も、継続して園芸振興につながる取組を進め、新規就農者に対し関係機関と連携を図り、担い手の育成に努めていく。

うららの森トマトハウスの内部

新風あがの
遠藤　孝

阿賀野市の未来について

質問　田中市長就任10年目に入り、まちづくりや市政に対する市長のビジョンを市民皆さんに伝える必要があると思うが、市長の考えを伺いたい。

答弁　様々な社会環境の変化や、多様化、高度化する住民ニーズなどに対応できる持続可能な行政運営を進める。7つの政策を掲げ、住民のニーズに対応して「元気で明るく活力ある魅力的なまち」を実現したい。

阿賀野市の活性化について

質問　阿賀野市の象徴となるべく芸能、文化、多目的ホールを阿賀野市の将来の夢づくり、まちづくりの一環として阿賀野市基本構想に盛り込んではどうか。

答弁　現在、市の固定椅子の完備されている施設は最大210席、椅子を並べて380席の施設。ステージも狭い。これ以上の人員収容は体育館を代替施設として利用している。今後庁内で議論を重ね今後の課題としていく。

市職員提案制度について

質問　職員が自由かつ積極的に提案できる環境づくりをしていただきたい。

答弁　職員の提案は随時受付、更に環境の整備を行う。

市内道路の構想について

質問　阿賀野バイパス開通とともに基本構想の中に笹神方面、五頭温泉郷にアクセス道路の必要性を問われる中、阿賀野バイパスから国道49号、290号への縦断的道路と市内道路の整備構想の見通し、今後の可能性について伺う。

答弁　後期基本計画では、五頭連峰、五頭温泉郷、瓢湖などの地域資源を活かしたまちづくりを基本構想に掲げている。「道路環境の充実」として阿賀野バイパスの開通による市街地の渋滞緩和に加え、地域産業と観光の活性化のために広域道路ネットワークを国県道と連携して整備する。今後は縦断道路も含め広域道路ネットワークを検討していきたいと考える。

無会派
天野　市榮

五泉地域衛生施設組合が整備する市内最終処分場の建設について

質問　平成28年7月20日に建設候補地に決まった「大日地区」について、軟弱地盤による大幅な事業費の増高（37億円から65億円）が判明。同所での建設断念により、これまで支出された経費（総額で4,036万円）が無駄になった。新たな候補地についての見通しを伺う。

答弁　施設組合（五泉市、阿賀野市、阿賀町で構成）において慎重に検討していく。

意見　施設組合から提供された候補地の資料と異なる「大日地区」が選定されていた。

空き家対策の現状と今後の課題について

質問　管理不全な空家等（令和2年度末現在、511戸を確認）の増加により、病害虫の発生、有害鳥獣の住処、事故の発生など、良好な市民生活が脅かされてくる。解消に向けた具体的な取り組み状況を伺う。

答弁　条例に基づき所有者に対し必要な措置を講ずるよう助言・指導しているが、改善されなければ「特定空家等」に認定し、法的な措置を講じる。

意見　空家の実態把握などには、自治会との連携が不可欠。

阿賀野バイパスの部分開通の影響について

質問　阿賀野バイパス（延長8・1㎞）が部分開通（下黒瀬・百津間5・4㎞）に変更になったことで、全線開通を前提に建設中の道の駅の運営や経済活動への影響をどのように分析し、対策を講じるのか。また国道からバイパス交差点までの間の道路改良の見通しを伺う。

答弁　道の駅については大きな影響はない。その他については現在分析中。道路改良は新潟国道事務所と協議を進めていく。

意見　選挙公約の一つになっている全線開通に向けて、市長は指導力を発揮すべき。

Go To 道の駅

議会改革推進特別委員会からのお知らせ

市議会では市民の多様な意見を把握して市政に反映させるために、必要な政策を自ら立案し、または執行機関に提案することにより、市民と一緒になってまちづくりに取り組んでいます。この度、市民からお寄せいただいたご意見・ご提案に対してお答えします。

「議会へのたより」の実施について

Q　議会活動に対し市民が率直な意見を述べたり質問できるようにするために、市役所の本・支所など市が管理する公共施設に提出用専用はがきを配置してはどうか。また市のホームページにおいても受付け窓口を設けたらどうか。

A　市議会では、議会だよりの発行、本会議のインターネット中継、議会報告会を通じて、議会活動を広く市民にお知らせしています。また、議場傍聴席入口に設置しているアンケートボックスやファクシミリ、電子メールなどにより市民からの意見や提案を受け付けています。

更には16人の議員が地元などで行う議員活動によって集めた市民の意見や提案を議会活動の中で集約し、市政に反映できるように活動しています。市政や議会運営についてのご意見・ご提案があれば、いつでもお近くの議員にご相談ください。

議場の公開（活用）について

Q　議場の公開や議場を活用したコンサートを開催してはどうか。

A　いずれも、市民の皆さんから議会に関心を寄せていただけるきっかけになるものと考えていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現時点での公開（活用）は困難な状況です。議会の中で検討を継続してまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

次回9月定例会の予定

月　日	会　議　名
8月25日(水)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
9月 6日(月)	本会議（議案上程、一般質問）
9月 7日(火)	本会議（一般質問 ）
9月 8日(水)	本会議（一般質問 ）
9月10日(金)	総務文教常任委員会
9月13日(月)	社会厚生常任委員会
9月14日(火)	産業建設常任委員会
9月16日(木)	決算審査特別委員会
9月17日(金)	
9月21日(火)	
9月24日(金)	本会議（委員長報告、採決）

8月25日の議会運営委員会で正式に決定します。
その後、市ホームページでお知らせします。

議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは必要ありません。
受付簿に住所と氏名をご記入いただくだけで傍聴できます。
＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席の数を減らしております。
＊体調のすぐれない方の傍聴はご遠慮ください。
＊入室の際はマスクの着用と手指消毒にご協力ください。

本会議はインターネットでもご覧いただけます。

1．検索サイトで「阿賀野市議会　映像」で検索してください。
または、こちらへ➡
2．会議名、議員名などから視聴したいものを選んでクリック！

生中継と録画があります。

議会報告会の開催について

議会報告会は感染症対策を徹底した上での開催となります。
開催のご希望がありましたら、市議会議員または議会事務局へご相談ください。

6月13日～20日、瓢湖で開催されたこいのぼり大作戦。満開のあやめの中、こいのぼりが元気に泳いでいました。

令和2年度（11～3月分）
政務活動費の収支を報告します

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、条例に基づき会派または議員に対して交付されるものです。

政務活動費は1人月額1万5千円が交付され、残額は市に返還します。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で議員活動が制限され、多くの残額が生じました。

（単位：円）

会派名・氏名＼項目	収入	支出					残額（返還額）
		広報費（広報紙・報告書等印刷費、文書通信費等）	資料作成費（印刷製本代、消耗品等）	資料購入費（書籍購入費、新聞雑誌購読料等）	事務所費（維持管理費、事務機器購入・リース代等）	合計	
日本共産党（3名） 宮脇　雅夫、岡部　直史、松崎　良繼	225,000	187,788		28,000		215,788	9,212
公明党（1名） 村上　清彦	75,000					0	75,000
市川　英敏	75,000			26,384		26,384	48,616
山口　功位	75,000			20,000		20,000	55,000
風間　輝榮	75,000			14,060		14,060	60,940
大滝　　勝	75,000			20,030		20,030	54,970
百都　順也	75,000			39,410		39,410	35,590
加藤　博幸	75,000	21,234	7,916	45,427	15,459	90,036	0
遠藤　　孝	75,000			4,890		4,890	70,110
荒澤　浩和	75,000			28,456		28,456	46,544
遠藤　智子	75,000			34,999		34,999	40,001
近山　　修	75,000			23,815		23,815	51,185
清野　栄一	75,000	122,218				122,218	0
天野　市榮	75,000	81,156		8,010	8,250	97,416	0
合　計	1,200,000	412,396	7,916	293,481	23,709	737,502	547,168

注）調査研究費、研修費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、人件費の支出は、いずれの会派、議員とも0円でした。

水防演習に出席しました

5月30日、五泉市三本木地先（三本木大橋上流）において、国、新潟県、五泉市、阿賀野川水防連絡会共同主催のもと、阿賀野川・早出川総合水防演習が実施され、市川英敏議長、遠藤智子副議長が出席しました。

阿賀野市消防団による積み土のう工の演習

議員表彰

全国市議会議長会から、4年以上市議会正副議長の職にあった者として風間輝榮議員が表彰され、6月4日、表彰状が伝達されました。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大は、世界に劇的な変化をもたらしました。コロナ禍の中で開催された6月定例会には傍聴いただき有り難うございました。現在、議会報告会は感染予防の観点から開催が難しくなっておりますが、当市でも新型コロナワクチン接種が5月12日から開始され、今後市民皆様方との意見交換も期待されつつあります。今は何よりも感染症が一日も早く終息し、普通の生活に戻れる日を心から祈っております。

広報広聴部会員　遠藤智子

議会改革推進特別委員会広報広聴部会
部会長　松崎良繼
副部会長　近山修
遠藤智子
村上清彦
岡部直史
清野栄一
天野市榮
荒澤浩和

次号は令和3年10月15日発行の予定です。

議会の情報は市ホームページをご覧ください
http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/
本会議議事録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。

発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会広報広聴部会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
ＴＥＬ：６１-２４８９
ＦＡＸ：６１-２０６７
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp